

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために  
*Serve to Change Lives*

2021-22年度 RI会長/シェカール・メータ  
RI.D2590ガバナー/小倉 正  
横浜旭RC会長/北澤 正浩

国際ロータリー第2590地区

## 横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NJTS1階/〒241-0821  
TEL.045-465-6702/FAX.045-465-6712  
http://yokohamasahirc.cho88.com  
Email: asahirc@titan.ocn.ne.jp  
例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル  
(榎岡田屋3階会議室)  
例会日 毎週水曜日/12時30分～1時30分



横浜西部病院へフェイスシールド寄贈

横浜市へ医療機器支援

旭ふれあい区民まつり

2021年7月21日 第2440回例会 VOL. 53 No. 2

- 司会 SAA 宋 謹衣
- 開会点鐘 会長 北澤 正浩
- 出席報告

会員数	22名	本日の出席数	14名
本日の出席率	73.68%	修正出席率	90.91%

### ■本日の欠席者

田川、中谷、平子、福村、目黒

### ■他クラブ出席者

宋（横浜南 RAC・川崎大師 RAC）、  
新川、関口（地区）

### ■ビジター

下山清隆様（第5G ガバナー補佐、横浜南陵 RC）  
福羅博行様（横浜南陵 RC 幹事）  
堀口好美様（横浜南陵 RC 前年度幹事）

### ■ゲスト

林 悦さん（米山奨学生）

### ■皆出席祝い

五十嵐会員 28年、新川会員 18年

### ■会長報告

北澤 正浩

梅雨も明け、夏本番の暑さが続いております。皆様におかれましては熱中症等、体調を崩さないように気をつけていただければと思います。

さて、いよいよ今月23日より東京オリンピック・パラリンピックが始まります。

オリンピックは7月23日（金）～8月8日（日）の日程で、パラリンピックは8月24日（火）～9月5日（日）の日程で行われることとなっています。

世の中は賛否両論あり、あまりオリンピックムードが高まっているとは言えず、毎日メディアではネガティブな報道ばかり目にします。たしかに、コロナウイルスの感染が拡大し、医療に従事している方々が日々命がけでコロナに立ち向かっていただいているのを思うと、開催することに腰が引けるのは理解できます。

オリンピックがもつ根本的な考え方を「オリンピズム」と言うそうです。近代オリンピックは、19世紀の末、フランスのピエール・ド・クーベルタンの提唱によって始められました。クーベルタンは、スポーツを通じて個人が成長し、その人々が交流することによって、世



界平和がつくられると考え、オリンピックの復興を提案しました。このクーベルタンが思い描いた理想を「オリンピズム」と呼んでいます。

クーベルタンが唱えた「オリンピズム」とは、「スポーツを通じて心身を向上させ、さらには文化・国籍など様々な差異を超え、友情、連帯感、フェアプレーの精神をもって理解しあうことで、平和でより良い世界の実現に貢献すること」この理想は今も変わらず受け継がれています。

ロータリーの目的にも「奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること」とあります。

スポーツ、奉仕と手法に違いはあれ、国際理解や世界平和の実現は、我々ロータリアンの目的と違いはありません。新型コロナウイルスのせいで世界各地で国内外の分断が進んでいる今こそ、人々に興奮と感動を与え、世界が一つとなるスポーツ大会が開催されることはとても意義があることと思います。様々な問題がありますが、この大会が無事に開催され、成功裏に終わることを祈らずにはられません。

本日は下山ガバナー補佐をお迎えしての第3回クラブ協議会となります。どうぞ宜しくお願い致します。

#### ○地区関係

1) 第1回クラブ会長・幹事会議の案内

日時：2021年8月5日(木) 18:30～

場所：新横浜国際ホテル

北澤と市川で参加予定

2) 第2590地区ローターアクト 全クラブ合同例会の案内

日時：2020年7月31日(土) 15:00～17:30

参加方法：Zoom

7月23日(金) 締切り

#### ○クラブ関係

目黒会員の奥様、目黒照代様のご逝去されました。

心よりご冥福をお祈りいたします。

#### ■幹事報告

市川 慎二

1) 例会臨時変更のお知らせ

○横浜田園ロータリークラブ

日時 8月10日(火) ブリーベリー狩り

○大和ロータリークラブ

日時 8月10日(火) 休会

日時 8月24日(火)⇒21日(土)家族会

日時 9月21日(火) 休会

2) 本日、例会終了後に第6回理事会を開催致しますので、理事の方はご出席をお願い致します。

3) 先日ご入会された中谷さんは、当面患者様の予約が入っているため、次回は8月18日に出席予定です。一ヶ月に一度は出席できるよう、調整してくれているようです。

4) 理事会報告

1、計画書の承認

2、青木会員の退会届について 承認

3、例会時間 本日より通常の1時間例会とし、但しコロナ禍の状況により臨機応変に対応する。

4、CLPにつき今年度も暫定的に導入実施する。

5、災害基金へ18万円計上する。

#### ■林 悦さん近況報告

おはようございます。今日は暑くなりました。東京大学院の受験日も近くなってきます。今月は筆記試験の内容を中心に準備しています。毎日時間が足りないと思っていますが、よく考えると、実はたくさん内容を復習し、充実な一ヶ月を過ごしました。

学校はいよいよ期末になりました。来週は夏休みに入りました。フェリス大学院に進学



する手続きはもう全部終わりました。これから安心して他の大学院を受けるだろうと思っています。

卒論も順調に展開しています。昨日図書館から出て。外にはとても美しい夕方があります。その瞬間「このような美しいものを見ると、きっと何でも叶うだろう」と思いました。

来週のオリンピックも期待していますね！

これからもよろしく願いいたします！

#### ■クラブ奉仕フォーラムに代えて

クラブ管理運営委員長 新川 尚

2590 地区の 2019 年 7 月 1 日の会員数は 1,996 人でした。2020 年 7 月 1 日の会員数は 1,930 人でした。今年の数字はまだ出ていませんが、1,900 人を割り込むことは確実です。会員増強は勿論のこと、退会防止が大事になってきます。その為には、ロータリー活動へのモチベーションの維持、向上が必要と考えております。コロナ禍の為、活動が制限されており、奉仕の機会が激減し、親睦活動もままならない状態ですが、オンラインなど活用して会員同士の対話が途絶えないようにすることが重要だと思います。

他のすべての奉仕部門が効果を上げるためには、クラブ奉仕が円滑に運営されていなければなりません。すべての奉仕部門の重要な要素は親睦です。親睦があればこそクラブ会員は高い出席率を維持し、力を合わせ他者への奉仕に最大限の成果を達成しようという意欲を持つのです。

クラブ基盤の強化、クラブの活性化は全員のご理解とご協力がないと成し得ません。今年度の会長テーマ「活力あるロータリー」へ向けて皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

#### ■ニコニコ BOX(会員敬称略)

下山清隆様(第5G ガバナー補佐、横浜南陵 RC) / 本日、クラブ協議会参加で伺いました。横浜南陵 RC の仲間ともども宜しくお願いします。

福羅博行様(横浜南陵 RC 幹事) / 本日は下山ガバナー補佐のお伴で参りました。宜しくお

願いします。

堀口好美様(横浜南陵 RC 前年度幹事) / 下山ガバナー補佐のお伴で参りました。宜しくお願いします。

北澤 正浩 / 下山ガバナー補佐、福羅様、堀口様ようこそお越し下さいました。林さんお久しぶりです。

新川 尚 / 下山ガバナー補佐、本日は宜しくお願いします。皆出席祝ありがとうございます。

五十嵐 正 / 28 年の皆出席祝いを頂きました。本来なら 31 年ですが、入会 3 年目に 1 回サボリ、当時の事務局の平野さんから勿体ないと指導を受け、以後改めました。

安藤 公一 / 下山ガバナー補佐ようこそ。本日は宜しくお願いします。日本女子ソフトボールチームの勝利を祝して、今晚のなでしこ JAPAN にも期待します。

二宮麻里子 / 下山ガバナー補佐ようこそ。本日は宜しくお願いします。

二宮 登 / 下山清隆ガバナー補佐様をお迎えして。

増田嘉一郎 / 下山ガバナー補佐、連続の登板ご苦労様です。ご指導宜しくお願いします。

関口 友宏 / 下山ガバナー補佐、お暑い中ようこそ。クラブ協議会、ご指導宜しくお願いします。

市川 慎二 / 下山ガバナー補佐をお迎えして。堀口様、福羅様ようこそお越し下さいました。林さんようこそ。

太田 勝典 / 下山ガバナー補佐様をお迎えして。

佐藤 利明 / 下山清隆第 5G ガバナー補佐ご苦労様です。横浜南陵 RC 福羅様、堀口様ようこそ。目黒会員の奥様のご冥福をお祈りします。



宋 謹衣／下山ガバナー補佐、福羅様、堀口様ようこそ。

林さん1件目の大学院に合格しておめでとう。2件目も頑張ってください。応援します。

佐藤 真吾／目黒照代様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

本日はガバナー補佐をお迎えしてのクラブ協議会です。ご指導よろしくお祈り申し上げます。

岡田 隆／下山様、本日は宜しくお祈り致します。

### ■クラブ協議会

会場監督 SAA／宋委員長（計画書 p14 参照）

クラブ管理／新川委員長（計画書 p14 参照）

※今年度旭ふれあい区民まつりは中止となりました。

増強委員会／関口委員長

「ロータリーの友」が行ったアンケート調査によると、コロナ禍で会員数を減らしたクラブが多数あったようです。後遺症による今後の影響が心配されます。

クラブの運営基盤を維持し、活力あるクラブづくりをしていくには、会員増強が欠かせません。「会長の目標・純増2名」達成のため、大変難しい時期ではありますが、皆様のご協力をお願いする次第です。情報と紹介をお願いします。

次回8月4日の例会は、会員増強のためのクラブ・フォーラムです。「若い世代と女性会員を増やすには」をテーマに、活発なご意見を頂きたいと思っております。

奉仕プロジェクト（職業奉仕）／佐藤真吾委員長（計画書 p23 参照）

社会奉仕／太田副委員長（計画書 p23 参照）

国際奉仕／五十嵐副委員長

国際奉仕は、先ずこれまで継続して活動支援をしていた、横浜市が運営する、外国籍の児童の日本語学習支援「ひまわり（日本語支援拠点施設）」と、地元鶴ヶ峰で在日外国人へ日本語学習支援をされている、旭・日本語ボランティアの活動につき継続して活動支援を行いたいと思っております。

次に、二宮登会員が会長を務める、横浜マニラ友好委員会が計画している、フィリピンのダバオ市の小学校にPCを寄贈する件で横浜旭として協力して参りますが、これは単にPCを寄贈するだけではなく、フィリピンのダバオ市の小学校と、横浜の南吉田小学校（全校児童数は700人だが、中国人は全体の約4割を占める。中国以外の国・地域出身者（18カ国・地域）も含めると、外国人児童は半数を超える。）と、帰国子女の多い金沢の小学校と、以前二宮さんが尽力したコアラの関係からオーストラリアの小学校とで、3か国フィリピン・オーストラリア・日本の小学生を結んだオンラインの交流会を、横浜市教育局と国際局の支援の元、12月に計画しております。この交流会は継続的に実施される予定でして、この活動に当クラブとしても何らかの協力支援を行いたいと考えております。

青少年奉仕／岡田副委員長（計画書 p23 参照）

R財団／二宮麻理子委員長（計画書 p24 参照）

※計画書ミスプリント

ポリオプラス=30\$ 年次基金=150\$に訂正

米山奨学会／宋委員長（計画書 p24 参照）

災害対策／増田委員長（計画書 p25 参照）

※現状熱海の土砂災害に付き、地元の熱海南・網代多賀RCの2クラブに状況を伺っているところです。

チャリティーコンサート／新川副委員長

（計画書 p26 参照）

会計／安藤委員長

昨年度との大きな違いは会費を半期1万円減額しました。何故と申しますと例会が上半期半分の回数、後期については従来通り毎週例会で食事を出すという事で計算をしました。ただ、まだ流動的な状況ですので、変更の可能性は残っております。他奉仕活動の予備費の予備費については例年より多少厚めにとっております。

### ■講評下山G補佐

昨年に続きガバナー補佐を務めさせていただきます、横浜南陵RCの下山と申します。よ



ろしくお願いいたします。

先ず、例会は状況によって回数を変えることは構いません、無理なさらないようにお願いいたします。以前、私の仲間のG補佐がコロナにかかっている事を知らずにあるクラブのクラブ協議会に出席し、クラブが保健所の査察を受け、2週間の例会中止の公的な指示を受けました。くれぐれもご注意ください。

総評として先ず関口増強委員長が言われたとおり、昨年2590地区の会員数が1936名位ありましたが、今年の7月の段階で1865名となりました。1900名を大きく割り込みました。他地区でも驚くほどの減少になっております。現状コロナ禍で会員数を維持することが自体が中々難しい。ロータリーという組織が、コロナ禍ではあまりそぐわない組織ではないかと思えます。何故かともうしますと、こうして会って話し合うと云うのがロータリーの基本的な姿と思えます。それからすると、例会の回数、内容等全てを含めてロータリー活動というものが制約されている。その中で会員増強、退会防止のスローガンの元で運営はしておりますが、なかには高齢者がいたり、会う事も恐怖というものが手伝って、瀬谷RCは昨年4名退会、港南RCは7名、それもクラブの中心、30年以上いられた方が一度に辞められた。これが現実だと思うのです。ですが、今度小倉ガバナーがお見えになり、小倉流の増強の仕方を発表されますので、よく聞いていただければ幸いです。

新川さんのクラブ管理運営委員会が、戦略委員会と併用と考えてよろしいでしょうか。

と申しますのは地区も戦略委員会を設けなさいと動いているもので、そのような形で認識させていただきます。

プログラム委員会にお願いですが、地区に卓話バンクというものがありますので是非ご活用ください。管理しているのが瀬谷RCの柳沼委員長です。

青少年委員会のインタラクティブの計画が延び延びになっておりますが、やはりコロナの影響でしょうか。引き続き設立に向け頑張ってください。

それとこども食堂の件ですが、あれは昨年だけということでしょうか。吉田ガバナーが気にされておりました。

災害対策委員会ですが、今回のように熱海の災害で地区より義捐金の依頼がある場合はどうされるのでしょうか。(増田委員長、回答として、各自自主的に行っております。当クラブの対応は、地元クラブの要請の基づいて支援活動を行うものです。)

全体的にコロナ禍でいろいろと実施出来ない状況ですが、会員の方がコロナに罹らないよう注意をして、活動していただければと思います。

### ■グローバル奨学生赤羽沙耶さん

#### 第三回四半期報告書

#### UNIVERSITY OF SUSSEX IN THE UK

#### 【イギリスでの生活・ロータリー関連活動】

イギリスでは、コロナに関連した規制は緩められてきていますが、カウンセラーの方が一時期病院に通う等されていたようで、最近はお会いする機会がありませんでした。定期的にメールのやり取りはあり、写真を送って



下さったり近況を聞かせて下さったりしています。来月からはオフラインでクラブの方とお会いできるかもしれません。

また、近隣のクラブから、サセックス大学に通っているロータリー奨学生で、内部用のホームページを作成したいという連絡も頂いており、今後、他のクラブの方と関わる機会もあるかと思われまます。

### 【修士論文】

修士論文は「人道的介入の正当性」というテーマで現在取り組んでいます。コンボで紛争が起こった際にNATOが行った介入をケーススタディとして、軍事介入の正当性はどうか判断されるべきかを検討しています。その他、ボスニア、リビア、ルワンダ等のケースも、満を持して介入が行われたが虐殺が防げなかった事例、介入すべきだったのに国際社会が沈黙を貫いた事例等として比較参照しながら、分析を行っていきたいと考えています。

まだまだ研究途中ですが、自分なりの回答を見つけられるよう進めていきたいと思ひます。

### ▷各モジュールの課題（エッセイ）

春学期に履修していたモジュールにおいて提出した最終エッセイについて、内容を簡単にご紹介致します。

#### 「開発と政治経済」

(The Political Economy of Development)

Title: How smart is 'Smart Economics' ?

「スマート・エコノミクス」とは、世界銀行が提唱している理論で、「女性の権利向上のための取り組みを行うことで、同時に経済発展が実現できる（スマートに経済を発展させることができる）」というものです。ジェンダー問題に関心の無い政府も、経済的利益のためであれば女性の地位改善に投資するとも考えられるので、前向きな理論のように思われますが、「女性を経済発展のための道具として見ている」という批判がなされています。

実際に世界銀行の関連レポートを参照すると、「女性が家事や育児をしながら働くことを

可能にするため、パートタイムの雇用を増やす」など、家庭内労働は女性だけが行うことを前提とした提案が多く見られます。このような方向性では、女性は家庭内の無給労働に加え、市場における有給労働にも従事しなければならず、女性の負担だけが大きくなってしまいます。ジェンダー問題の解決のためには、家庭内労働を分担するなど、根源的な対応が必要であることを論じました。

#### 「難民と人道的対応」

(Refugees, Displacement and Humanitarian Responses)

Title: Is repatriation the best solution for refugees?

Repatriationとは、難民・移民を出身国に送り返す本国送還のことです。国際社会は「難民にとっては故郷に帰ることが最善である」という前提のもと、本国送還を難民問題の最も重要な解決策の一つとして推進しています。しかし、難民といっても様々なバックグラウンドがあり、問題は複雑です。

例えばアフガニスタンでは、国内には十分な仕事がないためパキスタン等の近隣国家に出稼ぎに行くものの、差別等の理由から、勤務期間を終えると家族のいるアフガニスタンに戻るとい生活スタイルが浸透しています。一度祖国に帰れば「移民」という状態が終了するという単純なものではありません。

また、移住先で子どもが生まれた場合、通常その子どもは親の出身国の地を踏むことなく、移住先の環境で育ちます。出身国の言葉を話せず、現地には知人や親戚もいないという場合が多いです。こうしたケースで、出身国を「故郷」と呼ぶことは適切なのでしょうか。仮に送還されてしまったら、現地で生活していくことは難しいでしょう。

こうした観点から、固定観念を持たず、難民の状況に合わせた解決策を実施する事の重要性を議論しました。

#### ■次週の卓話

8月18日 ガバナー公式訪問